

令和7年度 緑中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	240	55	47	6.4	11.2
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	507
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

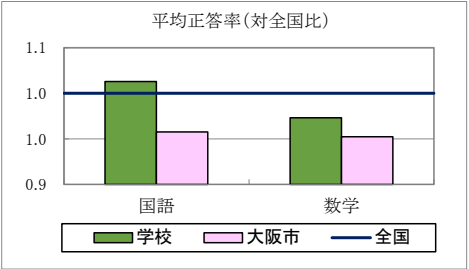
※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

令和7年度 緑中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

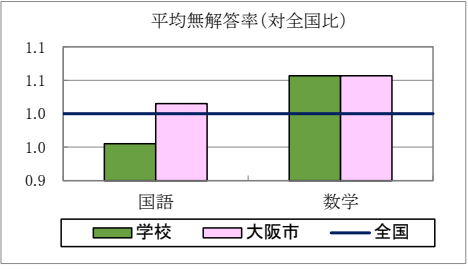
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	55	47
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

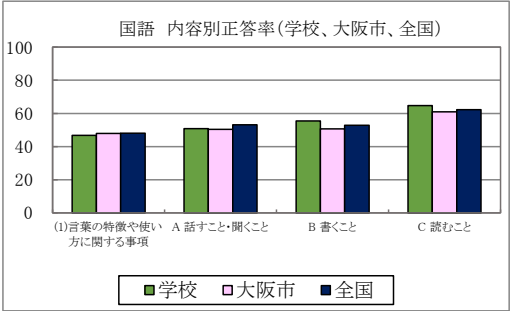


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	6.4	11.2
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



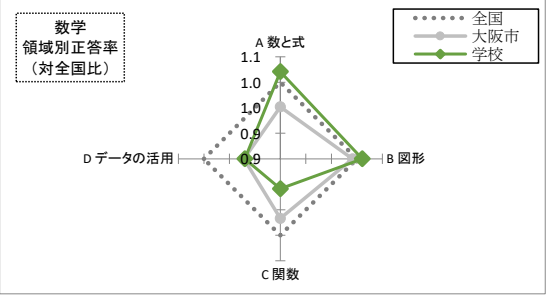
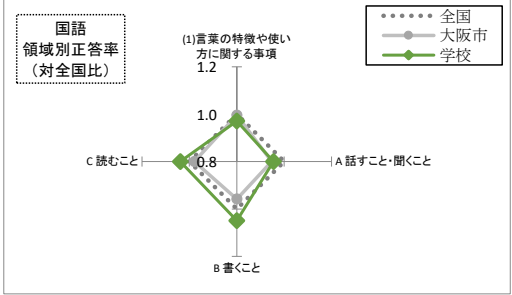
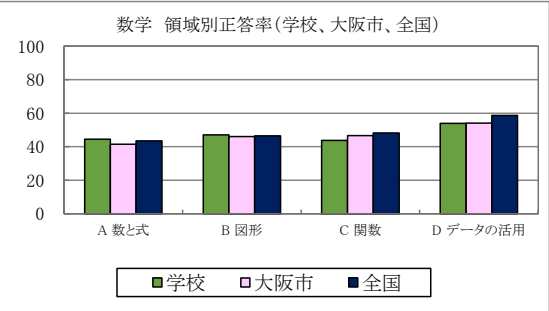
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	46.7	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	50.8	50.4	53.2
B 書くこと	5	55.4	50.6	52.8
C 読むこと	3	64.7	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	44.4	41.4	43.5
B 図形	4	47.0	46.1	46.5
C 関数	3	43.8	46.6	48.2
D データの活用	3	53.9	54.0	58.6

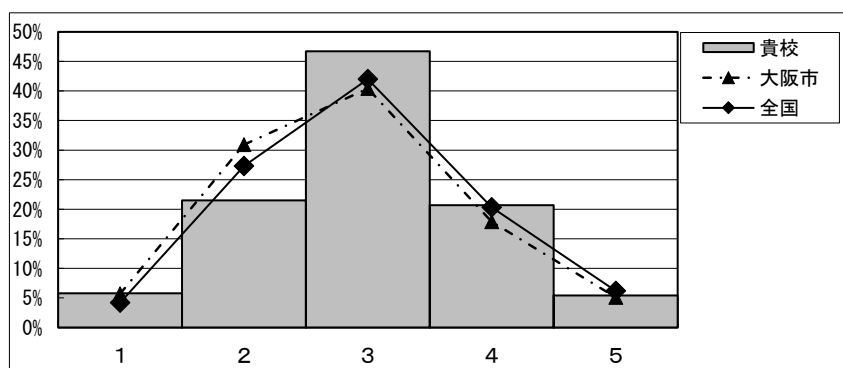
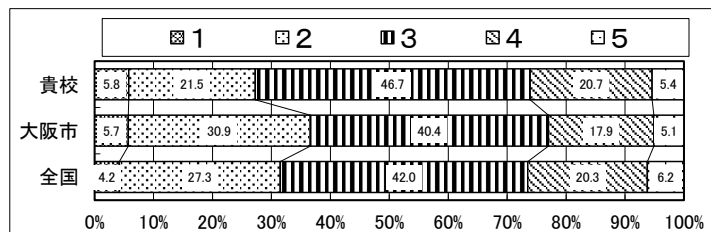


令和7年度 緑中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	507
大阪市	489
全国	503



令和7年度 緑中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

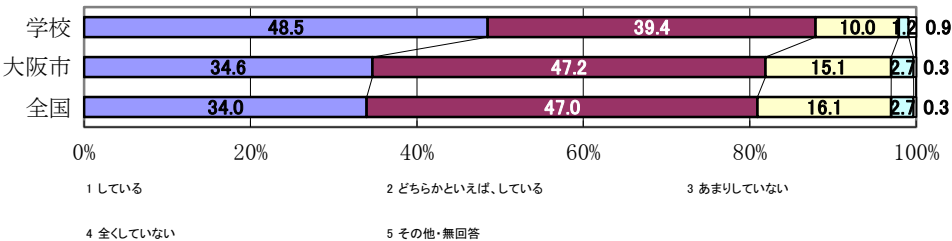
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

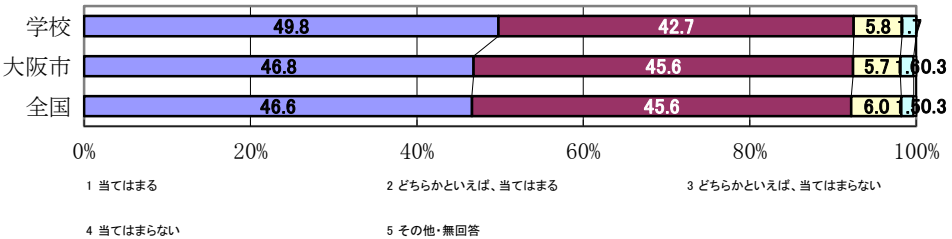
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



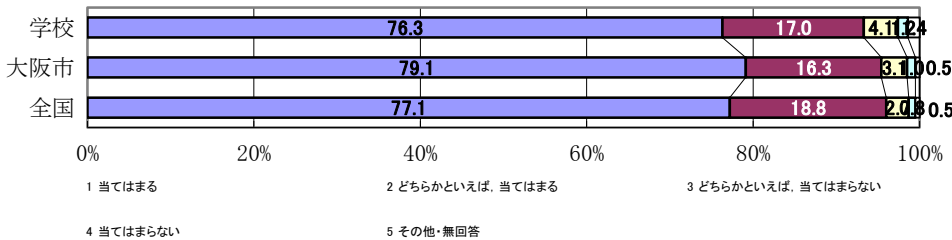
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



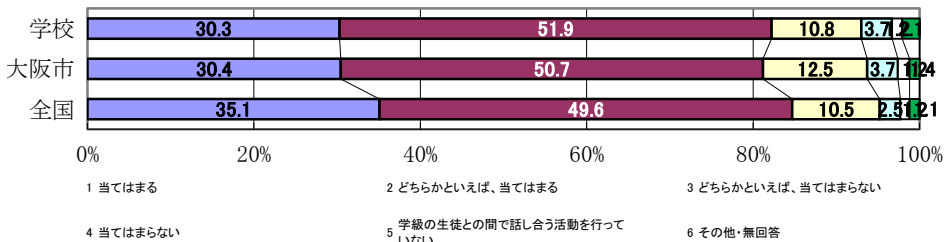
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



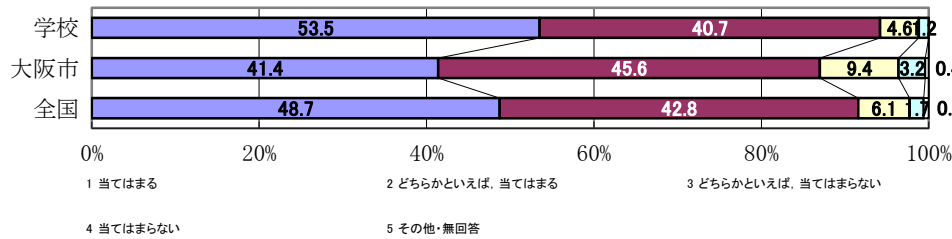
35

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



43

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



令和7年度 緑中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

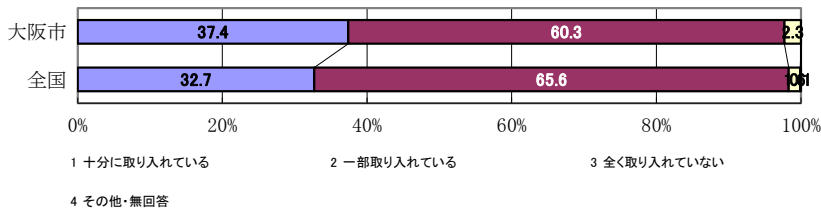
質問番号

質問事項

13

ICTを活用した校務の効率化
(事務の軽減)の優良事例を
十分に取り入れていますか

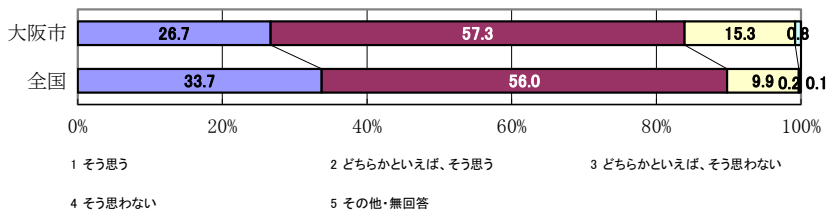
学校 「一部取り入れている」を選択



22

今までの取組をそのまま踏襲
するのではなく、新しい取組を
導入したり、提案をしったりして
くる教職員が多いと思いますか

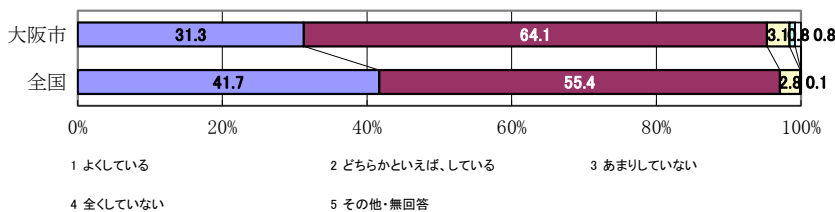
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



39

調査対象学年の生徒に対し
て、特別の教科 道徳におい
て、取り上げる題材を生徒自ら
が自分自身の問題として捉
え、考え、話し合うような指導
の工夫をしていますか

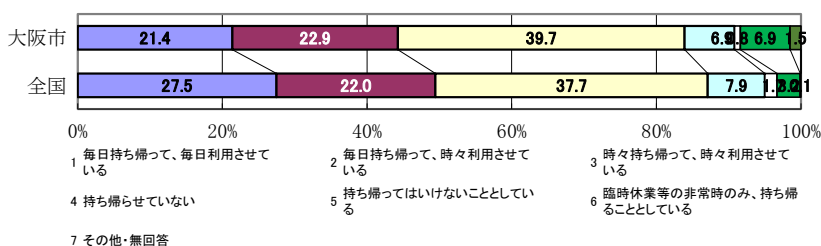
学校 「よくしている」を選択



66

生徒一人一人に配備された
PC・タブレットなどの端末を、ど
の程度家庭で利用できるよう
にしていますか

学校 「毎日持ち帰って、時々利用させている」を選択



67_1

生徒一人一人に配備された
PC・タブレットなどのICT機器
について、次のような用途でど
の程度活用していますか。(1)
不登校生徒に対する学習活動
等の支援((67-2)の授業配
信を含む)

学校 「週3回以上」を選択

